

## システム ROM アップデート時の注意事項

下記①の対象装置において、②の条件を全て満たす環境にてシステム ROM のアップデート操作を行う場合は、③の注意事項があります。ご確認をお願いします。

### ① 対象装置

ラックサーバ : Express5800/R120h-1E, R120h-2E (\*1)

タワーサーバ : Express5800/T120h (\*1)

\*1 : 2nd-Gen 以降は対象外

### ② 条件

下記 3 つの条件を全て満たす場合。

□ システム ROM のアップデート前バージョンが v1.20～v1.46 で且つ、アップデート後のバージョンが v2.00 以降であること。

□ システムユーティリティの Embedded LOM 設定が無効 [Disabled]に変更されている。

工場出荷時、本設定は[Auto] (有効) です。

設定内容については、下記手順にて確認いただけます

(1) システムユーティリティを起動します。

詳細な手順は、各機種のメンテナンスガイド (1 章 保守) の「システム設定情報の初期化」の項をご参照ください。

(2) システムユーティリティの下記設定値を確認します。

System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) >

PCIe Device Configuration > (\*1)Embedded LOM 1 : HPE Ethernet ... Adapter >

PCIe Device Disable : **【Disabled】** ←確認箇所

\*1 : Embedded LOM が無効時、「Embedded NIC」と表示されます。

Embedded LOM が有効時

R120h-1E/2E は 「Embedded LOM 1 : HPE Ethernet 1Gb 2-port 368i Adapter」

T120h は 「Embedded LOM 1 : HPE Ethernet 1Gb 4-port 369i Adapter」

と表示されます。

□ 下記に示すネットワークカードが PCI スロットに実装されている。

- ・ N8104-178/180 1000BASE-T 接続ボード (2ch)
- ・ N8104-179/181 1000BASE-T 接続ボード (4ch)
- ・ N8104-182/183/184 10GBASE-T 接続ボード (2ch)
- ・ N8104-185/186 10GBASE 接続基本ボード (SFP+/2ch)
- ・ N8104-187 25GBASE 接続基本ボード (SFP28/2ch)

### ③ 注意事項

システム ROM のアップデートにより、増設ネットワークカードの IP アドレス設定が無効化される場合があります。各 OS 毎に記載内容を確認してください。

#### ● Windows OS 環境のシステムの場合

以下の手順でシステム ROM のアップデートを実施してください。

- (1) 該当のネットワークカードを参照するサービスが自動起動しないようサービスを停止。  
また、該当のネットワークカード先にストレージを接続している場合、LAN ケーブルを外し、ストレージを認識しないようにしてください。
- (2) 該当のネットワークカードで LAN のチーミング設定をしている場合、チーミングアダプターのチーミング構成/IP アドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/優先 DNS サーバー/代替 DNS サーバーを記録し、チーミング設定を解除。
- (3) 該当のネットワークカードの IP アドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/優先 DNS サーバー/代替 DNS サーバーを記録（下記の赤枠部分）

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

☐ IP アドレスを自動的に取得する(O)

☒ 次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I):

サブネット マスク(U):

デフォルト ゲートウェイ(D):

☐ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

☒ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P):

代替 DNS サーバー(A):

☐ 終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(V)...

OK キャンセル

- (4) 該当のネットワークカードの IP アドレスを「IP アドレスを自動的に取得する」、DNS アドレスを「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」に設定変更。
- (5) システム ROM のアップデート手順を参考に、アップデートを実施。
- (6) 該当のネットワークカードに手順 (3) で記録した IP アドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/優先 DNS サーバー/代替 DNS サーバーを設定。
- (7) 手順 (2) で記録した情報を元にチーミングを再構築し、チーミングアダプターに IP アドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/優先 DNS サーバー/代替 DNS サーバーを設

定。

- (8) 手順(1)で設定変更したサービスを自動起動するように再設定。また、該当のネットワークカード先にストレージを接続していた場合、LAN ケーブルを再接続しストレージを認識できるようにする。



上記手順で行わなかった場合、固定 IP アドレスが他のデバイスで使用されている等のメッセージが表示され、固定 IP アドレスが設定できない事があります。その場合、デバイスマネージャ(\*1)を起動し、「表示」-「非表示デバイスの表示」をクリックし、ネットワークアダプターツリーを展開後、グレー表示になっている未使用のデバイスを削除してください。

\*1: デバイスマネージャの起動は、コマンドプロンプトより下記コマンドを実行

```
> set devmgr show nonpresent devices=1  
> start DEVMGMT.MSC
```

ESMPRO/ServerManager でネットワークを参照した場合、システム ROM アップデート後、ネットワークカードが重複して表示される事があります。OS 上で見えないネットワークデバイスの詳細は「Unknown」と表示されますので、無視してください。

## ● Linux OS 環境のシステムの場合

PCI アドレスを基準にしたデバイス名を使用されている場合、該当ネットワークカードの PCI バス情報が変化し、PCI 接続のデバイス名に影響がでることによってネットワークやストレージへのアクセスができなくなり、システムが正常に起動できなくなる場合がありますので、システム ROM アップデート後、OS が自動的に認識するネットワークカードのデバイス名を使用し、再度環境構築を行ってください。

PCI アドレスを含む/dev/disk/by-path/配下のストレージデバイス名は使用しないでください。

## ● その他 OS 環境のシステムの場合

システム ROM アップデート後は該当ネットワークカードの環境を再構築してください。

以上